

三宅島ふるさとだより No28

発行日:平成24年1月28日 三宅島ふるさと再生ネットワーク東京事務局 電話 fax 03(3963)5697
住所:〒173-0005 東京都板橋区仲宿 25-6 あすなろ福祉会内(本部) 三宅村神着 320-2 佐藤就之

三宅村議会議員・村長選挙の実施 あなたの一票が住みよい生活を創る

平成24年2月7日(火)告示

平成24年2月12日(日)投票日

午前7時から午後6時まで

島外滞在先・指定病院・指定老人ホーム等に入所中の人で不在投票を希望される方は、至急三宅村選挙管理委員会へお問い合わせください。期日前投票は、投票入場券を持ち2月8日～11日午前8時30分から午後8時までの間に三宅村臨時庁舎2階で投票できます。

お問い合わせは、三宅村選挙管理委員会、電話は、04994(5)0981

各議員の活躍度を点検する!

平成23年三宅村議会定例会一般質問

第一回議会質問議員 (平成 23 年 3 月 9 日)		第二回議会 (6 月 16 日)	第三回議会 (9 月 16 日)	第四回議会 (12 月 6 日)
浅沼徳広	一問	二問	二問	一問
長谷川崇	一問	一問	一問	
平野辰昇	二問	一問		一問
寺澤晴男	四問	二問	一問	一問
平川大作	四問	四問	五問	四問
福沢信哉		一問		
谷 寿文			三問	一問
佐久間達己		四問	三問	

注;順不動・敬称略、一般質問通告事項届による。他は、「議会だより」参照。

質問議員氏名と質問事項

第一回定例会一般質問通告番号順

(以下同・敬称略)

- 浅沼徳広 ・村税等の各種未収金について
長谷川崇 ・総合計画について
平野辰昇 1, 燃油類の価格安定、格差是正について 2) 人口透析について
寺澤晴男 1, 海上交通の諸課題 1) 三池港内の静穏対策を 2) 伊ヶ谷港通路の「水難」解消対策を 2, 災害対策 1) 空港被災防止対策を 2) 村道大崎線を安全道路に 3, 住民説明会 1) 公共施設移設に伴う説明会開催を 4, 高濃度地区の課題 1) 損害保険加入の方策
平川大作 1, 人口透析について 2, 高濃度地区問題について 3, プレミアム券について 4, バイクフェスタについて

第3回定例議会

- 浅沼徳広 1, 防災関係について 2) 人口透析予備軍に対する健康管理について
谷 寿文 1, 不燃ゴミ収集ステーション設置場所について 2, 三宅村の災害における危機管理について 3, 議員定数について
長谷川崇 1, 防災計画について
平川大作 1, 高濃度地区の問題について 2, 人口透析導入に向けての中央診療所のあり方について 3, 放射能の問題について 4, 携帯の利用できない場所、防災無線の受信の低下について 5, バイクフェスタについて
寺澤晴男 1, 防災・減災対策強化について
佐久間達己 1, 第5次三宅村総合計画の策定について 2, 公有財産の管理と有効な活用のあり方について 3, 2期8年の平野村政の総括と時期村長選への出馬について

第二回定例議会

- 浅沼徳広 1, 防災訓練について 2, 人口透析について
長谷川崇 ・学校施設耐震化について
福沢信哉 ・村道伊豆海岸線改修工事その6について
寺澤晴男 1, 災害対策について 2, 行政懇談(説明)会の開催について
平川大作 1, 高濃度地区問題について 2, 人口透析について 3) 防災について 4, バイクフェスタについて
平野辰昇 ・中央診療所の駐車所について
佐久間達己 1, 三宅中学校のクラブ活動で起きた事故の経過と対応について 2, 坪田高濃度地区対策として巨費を投じた計画の是非と、今後の対応について 3, 公共施設の建設場所の選定のあり方について 4, 都道拡幅改修に伴う三宅村公民館のあり方について

第4回定例議会

- 谷 寿文 三宅村の将来ビジョンを明確にした第5次三宅村総合計画の策定を
浅沼徳広 三宅島の活性化について
寺澤晴男 村長残留期間も2ヶ月。次期出馬と重要課題を問う
平川大作 1, 特産品開発について 2, 公民館の後の多目的ホールの実現を 3, 放射能検知について 4, 村営住宅について
平野辰昇 坪田体育館のボルダリングについて

以上

ロック わんこの島

DVD発売とひかりTV同日提供開始
ビデオ 1月27日から

ふるさとネットホームページ改設しました。

[Http://www.miyake-furusato.net/](http://www.miyake-furusato.net/)
グーグル等の検索サイトに「三宅島ふるさとネットワークホームページ」入力で見られます。

東日本が未曾有の巨大地震に見舞われた昨年、4選を果たした石原知事。防災対応に追われた一年だったが、新たな年の初めに都政人に望むことは何か。4日に都庁第一本庁舎大会議場で行われた知事の新年あいさつの要旨をまとめた。

肝心なことに目を向けよ

新年明けましておめで
とうございます。今年は、
非常に厄介というか、日
本にとって東京にとって
というより人類全体にと
って、大きな意味を持つ
年になるような気がす
る。

ぐらいかと聞くと「10
0年だ」と言った。それ
から40年が経った。
去年、ダーバンで行わ
れたCOPでは(CO₂
の)大量の産出国がこね
抜いた。9時間会議を延
ばし、4年後に新しい制

度を作り、その制度を今から9年先に実行しよう
と合意を得た。こんな合
意が何になるか。放つて
おけば死ぬだらう病人に
何も手を加えず、4年間
見よう。処方を決めて
から5年後に打つべき注
射を打とうと。こんなこ
とで温暖化がもたらして
いる弊害を阻止できるわ
けがない。

去年、日本は豪雨に見
舞われて、台風ではあの
さまだった。アメリカの
ワシントンでも大雪が降
った。ニューヨークでも
降った。異常気象という
が、私に言わせれば正常
な気象だ。気象が正常に
変化してきた。何年前
に都のスタツフと一緒
に、ツバルという海に沈
みつつある共和国に見に
行つた。もう半分ぐらい
沈んでいた。我々の生命
を担保している自然が狂
つてきたのは大きな意味
を持つと思う。

北極海の水が溶けて太
西洋と太平洋が北極でつ
ながることになるかもし
ない。

島の水が溶けて太平洋が北極でつとになるかもしれないと、ロシアとカナダとアメリカはあの海域の海底資源の利権をどう区分するかの議論している。そんなことで何が間に合うだろうか。

片方では、Uは見事なこと

コノミストと日本のエコノミストと話し、彼らが等しく言うには「總体的に眺めると、日本の経済はまだましです」と。

「自分の本当の足元が崩れてきたら、消費税を上げざるを得ないでしょう。日本のように、進んだ福祉を低負担でやっているのは世界中、どこにもありません」と。

「**都是皆さん**とやってきたから、全く正しかった

東京のまねをして会計制
度を取り入れた。肝心な
ことは力ネ。

福田和也という評論家
が15、16年前に『なぜ日
本人はかくも幼稚になっ
たのか』というなかなか
いい論文を書いた。「幼
稚な人間とは何が肝心か
色人種を搾取、支配して
ない。

世界全体が鳴動し出し
た。西欧、中東で起きて

をやった。もし江戸の経済が崩壊したら、ヨーロッパだけで済まない。昨年、割に優れた外国のエコノミストと話し、彼らが等しく言うには「総体的に眺めると、日本の経済はまだましです」と。

と思う。総体で眺めてみると、大阪は橋下君が知事から市長に転じた訳はよく分かる。大阪市は18人に1人が生活保護を受けている。それを何とかしようと橋下君は立ち上がった。彼は何が肝心かが分かっていった。だから、ボナナスの累進も変化を付けた。200億くらいしかなかった貯金が1兆円に増えた。景気が悪くなつて怪しくなつてきたが、できるだけ手を付けずに済ませようとしているが、主要矛盾に手を付けなかつたらどうにもなら

A black and white photograph showing a large, dense crowd of people seated in rows, filling a large hall. The audience is facing towards the front of the room. In the background, there is a stage area with a large screen or banner displaying some text and graphics. The lighting is somewhat dim, and the overall atmosphere suggests a formal or organized gathering.

が分からない、考えよう
としない人間だ」と。全
くその通りだ。

私は共產主義は嫌いだ
が、中国の毛沢東が書いた『矛盾論』『實踐論』という小さな冊子があり、『矛盾論』にとてもいいことが書いてある。自分が解決しないといけない矛盾の背景にはもっと大きな矛盾がある。それを考えないと本当の解決にはならない。

東京は皆でそれをやつてきた。財政再建してきて、組合も言うことを聞いてくれた。3万近い人間を減らし、給料も下げた。成績や要職によってボーナスの累進も変化を付けた。200億くらいしかなかった貯金が1兆円に増えた。景気が悪くなつて怪しくなつてきたが、できるだけ手を付けずに済まそうとしているが、主要矛盾に手を付けたらどうにもならない。

世界全体が鳴動し出した。西欧、中東で起きて

いることは、一神教の摩擦がもたらした一種

の歴史のうねり、リベン
ジだ。これはキリスト

の白人がイスラム圏の有
色人種を搾取、支配して

第三回分のアンケートの集計と考察結果を④訪問活動、島民の声に収録しています。



首都直下型 4年内70%

地震活発 切迫度増す

マグニチュード(M)7級の首都直下地震が今後4年以内に約70%の確率で発生するという試算を、東京大学地震研究所の研究チームがまとめた。東日本大震災によって首都圏で地震活動が活発になっている状況を踏まえて算出した。首都直下を含む南関東の地震の発生確率を「30年以内に70%程度」としている政府の地震調査研究推進本部の評価に比べ、切迫性の高い予測だ。

M7級 東大地震研試算

昨年3月11日の東日本大震災をきっかけに、首都圏では地震活動が活発化。気象庁の観測によると12月までにM3.5~6の地震が平均で1日当たり1.48回発生しており、震災前の約5倍に上っている。

同研究所の平田直教授らは、この地震活動に着目。マグニチュードが1上がるごとに、地震の発生頻度が10分の1になるという地震

学の経験則を活用し、今後起こりうるM7の発生確率を計算した。

首都圏では1923年の関東大震災(M8級)のほかに、茨城県南部から浦賀水道にかけてM7級の地震が約120年間に5回起きている。地震本部が公表している発生確率は、こうした過去の地震の発生間隔に基づき計算しており、東日本大震災後の地震活動の活発化は考慮していない。

首都圏の地震活動の活発化は、東日本大震災によって地殻の動きが変化したためと考えられており、平田教授は「地震活動が活発な状態は数年から10年は続くと考えられる。その間にM7級の直下地震が起きる可能性は高い」と話している。

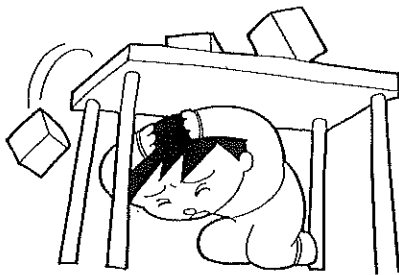
現時点の最大値
普段の備え促す

東大チームの試算は、現在の地震の発生頻度から今後起こるM7級地震の発生確率を求めている。島崎邦彦・地震予知

連絡会会長は「試算の数値は、今の時点での『最大瞬間風速』」と話し、M3.5~6の発生頻度が今後、どう変わるかを見守る必要があると指摘する。

首都圏でこれまでに起きたM7級地震は震源が30キロより深く、最大の被害は死者31人の明治東京地震(1894年)だった。しかし、阪神大震災(M7.3)のように震源が16キロと浅ければ、被害は拡大する可能性がある。島崎会長も、「耐震化などの首都直下地震対策は急務だ」と言う。

中央防災会議は9割以上の住宅が耐震化されれば死者は半減すると算定しているが、全国の耐震化率は2008年現在で79%。大震災は、災害大国に住む私たちに、改めて普段の備えを見つめ直すよう促している。(科学部 米山庸彦)



きた歴史の一つのはね返りだ。大きな歴史のうねりの中で、中国がどう泳ぐか、日本がどう泳ぐか。

そういう大きな選択をする能力は国政の政治家にはない。国の役人にも毛頭ない。彼らを擁護すると「我々の特質は継続性と一貫性です」と言うが、この変化の時代に何も新しいことができない。

どんどん変化している現場に適応し、機敏に、飛び越すくらいの先見性、発想力を持ってもらいたい。そういう現場を私たちは持つている。そういう歴史認識を持って、私たちはこの東京という現場を預かっていかないといけない。

毎年行われるサミットでは、温暖化(対策)について前進があったかと言われると、スポーツスマンは毎年毎年「半歩前進」と答える。3回同じ答えだ。3年かかって1歩半の前進。それで、この悪い自然の循環の狂いに追い付くわけがない。

知事新年あいさつ

私たちは相当覚悟しないといけない。もう、この人類の将来はそんなに先が長くはないのではないかと気がひしひしとしてくる。いろいろなものを総合的、複合的に束ねて抽出して考え直すと、私たちは非常に大きな歴史のうねりの中に差し掛かっていて、今年、この1年が非常に大事な分岐点になるんじゃないかという気がする。

ゲオルクというポーランドの詩人に有名な言葉がある。「例え地球が明日滅びることも、君は今日リンゴの木を植える」。その志で私たちは今年も頑張らなければいかん、頑張ります。よろしく願います。ありがとうございました。